

# 2022年度 事業報告

公益財団法人 日本レクリエーション協会

## もくじ

2022年度事業総括	3
1. レクリエーション運動を担う人材の育成	4
(1) レクリエーション研修	
(2) 公認指導者養成	
(3) 課程認定校での公認指導者養成	
(4) 公認指導者の審査・登録	
2. 指導者の活動支援と地域組織支援	10
(1) 指導者の再教育	
(2) 情報提供	
(3) 活動支援及び拠点整備	
(4) 公認指導者資格の更新	
3. レクリエーションの普及・啓発	15
(1) 全国イベント・啓発	
(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及	
4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及	20
5. その他 法人事務	20
2022年度 都道府県別公認指導者数一覧	22

## 2022年度事業総括

新型コロナウイルスの影響により、多くのスポーツやレクリエーションの大会、活動が自粛や中止を余儀なくされ、運動や仲間との交流ができないことにより、人々の心身の健康に大きな影響を及ぼしていること、また、2年間にわたって事業が実施できなかったことによる加盟団体の組織の弱体化も懸念されることから、2022年度は、人々の心身の健康づくりの機会を再び創っていくことに、加盟団体と連携して取り組み、こうした事業を通して加盟団体の組織基盤の強化を図っていった。

その具体策として、「健康スポレクひろば普及推進事業」と「スポレク EXPO～健康スポーツ・フェスティバル」を、加盟種目団体との連携を推奨しながら進めた。健康スポレクひろばは、全国 53 地区で 619 回のプログラムを実施し 15,000 人が参加。スポレク EXPO も全国 14 会場で 30 回実施され、岩手県では 2,500 人を、京都府では 3,500 人を超えるなど、全国で 16,000 人が参加した。

全国レクリエーション大会については、2020 年度、彬子女王殿下をお迎えして兵庫県にて行う予定であったが中止となり、2022 年度、3 年ぶりに「第 76 回全国レクリエーション大会 2022 ひょうご」を、彬子女王殿下の御臨席を賜り開催することができた。

加盟種目団体の支援として、個人情報管理やイベント情報の発信、参加申し込み等のシステム「ケンスポコム」を提供し、一般社団法人日本インディアカ協会と一般社団法人日本オートキャンプ協会が新たに利用を開始した。

都道府県協会の支援としては、15 県の若手人材育成の試みに助成を行い、2 県の事務局運営と 3 県の web サイト運営をサポートした。法人化についても 4 府県が行い、現在 6 県が準備をしており、2023 年度には法人化した都道府県協会が 32 に達する見込みとなった。

公認指導者の養成数は、課程認定校での養成が前年より 400 人減少し、3,200 名（2021 年度：3,621 名）に止まった。公認指導者の更新については、レク・インストラクターの更新は 17,917 名（同 18,734 名）の対象者に対し 13,175 名（同 13,677 名）、更新率は 73.5%（同 73.0%）となり、全資格の更新率も 75.7%となった。全体の公認指導者数は、昨年度より 2,577 名（同 1,926 名）減少して 43,375 名（同 45,952 名）となった。

公認指導者資格の前段階となる修了証制度は、レク・サポーター 466 名（同 1,080 名）、元気アップ・リーダー 344 名（562 名）の登録に止まったが、都道府県協会での講習会は増えており、全体の登録者が 4,730 名（同 3,000 名）となった。新しい試みとして、外国人介護職のための「インターナショナル・レクリエーション・サポーター」の研修プログラムを開発し、大阪府の専門学校にて試行し 36 名に修了証を発行した。

子どもたちへのレクリエーション活動の普及という点から「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会」においても新しい試みを行った。小学校等での普及審判員の活動を助成し、またオンラインで行う小学校対抗の大会も試みた。

スポーツ・レクリエーション用具の普及については、規模的には前年度を 1,000 万円ほど上回ったが、コロナ禍以前のような状況には回復しなかった。これまでドイツより輸入していたニチレクボールをリニューアルし、オリジナル用具として製造する仕組みを整えた。

2022 年度は、レクリエーションの普及・啓発という点では事業が活性化してきたが、公認指導者の養成数と全体の指導者数の減少傾向は続いており、全体の収入は前年と比べ 400 万円程度の減少、指導者関連では 2,100 万円の減少となった。

# 1. レクリエーション運動を担う人材の育成

## (1) レクリエーション研修

### ① レクリエーション・サポーターの養成

都道府県レクリエーション協会によるレク・サポーター研修を促進し、全国 43 の研修会を開催し、合計 466 名が登録した。

・学校レク・サポーター研修	研修数：6件	登録者数：21名
・介護レク・サポーター研修	研修数：19件	登録者数：106名
・グループレク・サポーター研修	研修数：18件	登録者数：339名

### ② 元気アップ・リーダーの養成

元気アップ・リーダー養成（元気アップ教室）を12府県（青森県、福島県、神奈川県、東京都、愛知県、三重県、京都府、大阪府、奈良県、山口県、愛媛県、熊本県）にて、22教室開催した。これにより、新たに344名の元気アップ・リーダーが登録された。

・チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員	：159名
・ラダーゲッター普及員	：67名
・スポーツテンカ普及審判員	：44名
・マンカラ普及員	：74名

### ③ インターナショナル・レクリエーション・サポーターの養成

外国人介護職のためのインターナショナル・レクリエーション・サポーターの研修プログラム及び養成テキストを制作し、モデル校（大阪の留学生が在籍する専門学校）による研修を行い、36名に修了証を発行した。

## (2) 公認指導者養成

### ① 都道府県レク協会とのレクリエーション・インストラクター協働養成

日本レク協会が理論科目と実技・演習科目の一部（合計19.5時間分）を通信学習で実施し、都道府県レク協会が実技・演習科目（31.5時間）と現場実習（9時間）を集合学習で実施する協働養成事業を全国13都県で実施した。しかし、本年度も新型コロナウイルスの影響により受講者数は142名にとどまった。

なお、都道府県レク協会が独自に開催するレク・インストラクター養成講座は、全国30道府県での開催となり、新規取得者は協働養成と合わせ、313名（昨年度305名）となった。

### ② 課程認定校教員のためのレクリエーション・インストラクター養成講習会

教員の異動等により、急遽レク・インストラクター資格が必要になった課程認定校教員、次年度新規課程認定を希望している学校の教員を対象に、事前学習（通信学習）と短期集中型のオンライン学習による養成講習会を開催し、10名が受講した。

なお、本講習は、課程認定校教員の義務研修の1つに組み込んでおり、2名の教員が講習の一部を受講した。

- ・オンライン学習：2023年1月21日（土）～22日（日）
- ・参加者数：12名（うち、10名資格取得）

### ③ スポーツ・レクリエーション指導者養成

新型コロナウイルスの影響を受けて、福島県、東京都、静岡県、愛知県の4都県での養成にとどまった。

カリキュラムの改訂については、資格認定委員会による承認を受け、新カリキュラムを確定し、養成テキストの制作を開始した。

また、実技科目のうち、スポーツ未実施者に適した種目の習得については、課程認定校研究連絡会議と協働で、教員を対象としたニュースポーツ研修会を開催し、新カリキュラム導入の準備を進めた。

### ④ 福祉レクリエーション・ワーカー養成

一昨年度より、通信学習（レポート課題）と集合学習（スクーリング）、現場指導実習による養成方法を見直し、集合学習をオンライン学習（2日間）に変更して実施することとしたが、感染症の影響でスクーリングを中止にするとともに、施設側の実習受け入れが困難なため、現場指導実習を休止した。

### ⑤ 資格認定委員会の開催

スポーツ・レクリエーション指導者カリキュラム改訂、公認指導者資格認定、新規課程認定校審査、課程認定校における専門資格学内審査、レクリエーション・インストラクター課程認定校優秀学生表彰、レクリエーション・インストラクター準上級指導者認定について審議を行った。

- ・資格認定委員会委員（敬称略）

松尾 哲矢（委員長） 岡山 千賀子 小田原 一記 木村 貴子  
小池 和幸 永田 真一 吉田 伊津美

- ・第1回：2022年10月7日（金）14:00～16:00 オンライン開催
- ・第2回：2023年2月17日（金）14:00～16:00 //
- ・第3回：2022年3月14日（火）14:00～16:00 //

## (3) 高等教育機関での公認指導者養成

### ① 課程認定校での公認指導者養成

「公認指導者養成制度」に基づき、大学、短期大学、専門学校の208校249課程を認定し、公認指導者の養成を行った。

○2022年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	204
スポーツ・レクリエーション指導者	28
レクリエーション・コーディネーター認定校	7
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	10
合計	249

## ② 課程認定校制度の学生向け広報

学生に公認指導者制度を周知し、社会で生きるレクリエーションの支援技術を紹介した冊子を課程認定校に配布した。また課程認定校向けのウェブサイトを通じて最新情報を効果的に発信した。

○冊子：レクリエーション ライセンスガイド

○ウェブサイト：課程認定校向け web サイト「Rec School Start」

## ③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組み

養成課程実施における特別措置を令和2年度に定め、令和4年度も同様の措置とする旨の周知を行うとともに、電話等での個別支援を行った。

## ④ 課程認定校研究連絡会議の運営

課程認定校の教育活動の充実と課程認定校相互の連携、都道府県レクリエーション協会との連携を図るために設置された課程認定校研究連絡会議の事務局業務を行った。

○総会・幹事会等

総会	2022年6月4日(土) オンライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の会務報告(事業報告・決算報告)の確認</li> <li>・令和4年度・令和5年度役員体制</li> <li>・令和4年度の会務計画(事業計画・予算)の確認</li> </ul>
第1回 幹事会	2022年4月6日(水) オンライン	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.令和3年度事業報告・決算報告について</li> <li>2.令和4年度事業計画案・予算案について</li> <li>3.総会次第・資料の確認</li> <li>4.新規事業、会務運営分掌の確認</li> </ol>
第2回 幹事会	2022年5月18日(水) オンライン	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.総会資料の確認</li> <li>2.新規事業について</li> <li>3.令和4年度会務運営分掌について</li> <li>4.総会後のテーマ別交流会のテーマについて</li> </ol>
第3回 幹事会	2022年6月4日(土) オンライン	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.総会資料・進行の確認およびリハーサル</li> <li>2.ブロック別交流会について</li> </ol>
第4回 幹事会	2022年9月17日(土) 会場：姫路市市民会館	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.全国研究集会開催に向けての事前確認</li> <li>2.各プロジェクトの進捗</li> <li>3.各ブロック研修会の進捗</li> <li>4.幹事会参加のための旅費支給手続きについて</li> </ol>
第5回 幹事会	2022年11月22日(火) オンライン	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.各検討プロジェクトの進捗について</li> <li>2.2022年度助成の評価と次年度の助成事業について</li> <li>3.各ブロック研修会の進捗</li> <li>4.2023年度総会について</li> </ol>
第6回 幹事会	2023年3月11日(土) オンライン	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.令和5年度総会資料について</li> <li>2.令和5年度業務分掌について</li> <li>3.2023年度総会の日程について</li> <li>4.「全国レクリエーション大会 2023 in とくしま」の研究フォーラムセッションについて</li> </ol>

○会議、研修事業等

全国研究集会	2022年9月18日(日) 会場：姫路市市民会館	<プログラム> 13:00～開会式、13:05～研究発表、15:20～日本レクリエーション協会からののお知らせ、15:30～閉会式
北海道・東北 ブロック研修	2023年2月19日(日) オンライン	北海道の自然を活用したレクリエーション活動
関東・甲信越 ブロック研修	2022年12月4日(日) 会場：立教大学池袋キャンパス	ニュースポーツ研修会(共催：日本レクリエーション協会)
	2023年3月3日(木) オンライン	レクリエーション研究「みんな、どうやってるの？」
東海・北陸 ブロック研修	2022年12月3日(土) 会場：名古屋経営短期大学	新たなレク教材への挑戦
近畿 ブロック研修	2023年1月22日(日) 会場：関西大学堺キャンパス	ニュースポーツ体験(共催：関西大学人間健康学部)
中国・四国 ブロック研修	2022年12月17日(土) 会場：岡山創志学園高等学校	ニュースポーツ研修会(共催：日本レクリエーション協会)
九州・沖縄 ブロック研修 ※中国・四国共催	2023年2月11日(土)・ 12日(日) オンライン	人口減少地域におけるレジャー・レクリエーションの可能性(共催：九州レジャー・レクリエーション学会)
課程認定校支援	認定校の教育活動の充実を図るために、教育活動助成(7校)、学生レク助成(全レク参加/1校、レク部助成/1校)を実施。	
レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム検討	レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラムの策定に向けて検討を進め、基本的な考え方、カリキュラム構成、各カリキュラムの概要に基づき、リファレンスブックを作成	
研究助成および自由時間研究検討	自由時間研究の投稿規程、編集委員会規定、査読ガイドラインの策定・改正を行い、研究助成事業の論文投稿の査読化導入の検討を進めた	

○自由時間研究の発行

2021(令和3)年度の研究助成分12本の論文を研究紀要「Leisure&Recreation 自由時間研究」第47号に掲載・発行。J-STAGE(独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム)に「Leisure&Recreation 自由時間研究」登録した。

○助成研究事業：11件の研究助成を採択した(自由時間研究 第48号に掲載予定)。

○日本レジャー・レクリエーション学会との事業連携

令和元年度より参画している学会事業への参加に加え、前述の「レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム検討」を行い、成果物としてリファレンスブックの制作に取り組んだ。

○課程認定校研究連絡会議会務事務局業務：会計管理など諸事務を処理した。

#### (4) 公認指導者の審査・登録

##### ① レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会にて実施	313名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	2,414名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会にて実施	10名
合計		2,737名

参考：2021(令和3)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会にて実施	305名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	2,859名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会にて実施	6名
合計		3,170名

##### ② スポーツ・レクリエーション指導者の審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	県レクリエーション協会にて実施	50名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	248名
合計		398名

参考：2021(令和3)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と各都道府県レクリエーション協会にて実施	133名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	237名
合計		370名

##### ③ レクリエーション・コーディネーターの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	—	0名	0名	0名
一般合計		0名	0名	0名
課程認定校 (3校)	各学校の学内審査により実施	11名	11名	11名
合計				11名

参考：2021(令和3)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2021年3月13日：web審査	1名	1名	1名
一般合計		1名	1名	1名



課程認定校 (7校)	各学校の学内審査により実施	38名	36名	35名
合計				36名

④ 福祉レクリエーション・ワーカーの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2022年9月29日：web審査	2名	2名	2名
一般合計		2名	2名	2名
課程認定校 (8校)	各学校の学内審査により実施	54名	51名	51名
				53名

参考：2021(令和3)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2022年3月13日：web審査	1名	1名	1名
一般合計		1名	1名	1名
課程認定校 (10校)	各学校の学内審査により実施	50名	44名	44名
				45名

## 2. 指導者の活動支援と地域組織支援

### (1) レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度の整備

#### ① 制度の周知及び促進

ホームページや解説動画、レクルーの記事を活用し、スキルアップ制度の解説や審査で求められる「実践力」「講師力」を高める方法などを周知した。また、都道府県レク協会への情報提供も随時行い、制度の周知とスキルアップの促進への協力を呼びかけた。

#### ② 準上級レク・インストラクター認定講習及び審査会

準上級レク・インストラクターの認定講習及び審査会を開催し、17名が受験した。事前及び当日の審査、不合格者への補講及び追審査を実施し、11名が準中級レク・インストラクターに昇級した。

##### ○東京会場

- ・2022年10月23日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・受験者：10名
- ・合格者：7名（うち追審査合格者5名）

##### ○大阪会場

- ・2022年11月13日（日） 新大阪丸ビル新館
- ・受験者：7名
- ・合格者：4名（うち追審査合格者4名）

#### ③ 講師トレーニング

準上級レク・インストラクターを目指す人を対象とした講師トレーニングを全国3会場（東京、名古屋、福岡）で実施し、合計24名の参加があった。審査会で評価されるポイントを踏まえ、講師力の向上を図った。

##### ○東京会場

- ・2022年5月22日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・受講者：11名

##### ○愛知会場

- ・2022年8月27日（土） 愛知県教育会館
- ・受講者：7名

##### ○福岡会場

- ・2022年11月27日（日） 筑紫野市生涯学習センター
- ・受講者：6名

### (2) 情報提供

#### ① 「レクぽ」を活用した情報配信

定期的なアクティビティ等の動画をアップし、頻度高く情報の更新を行った。支援者研修というカテゴリでは公認指導者限定の動画を配信し、準上級レク・インストラクター昇級審査の申請要件となる研修を配信した。

また、多様なスポーツ・レクリエーション活動が習得できるよう動画コンテンツを制作し、ケンスポコムと情報を連携した。

○アクティビティ：575本      ○動画：190本      ○記事：2,931

参考 2021 年度：575本      ○動画：173本      ○記事：1,698

○アクセス評価：閲覧数：3,202,758PV    訪問者数：518,699人

参考 2021 年度：閲覧数：4,637,899PV    訪問者数：649,080人

参考 2020 年度：閲覧数：3,912,605PV    訪問者数：561,232人

○スポーツ・レクリエーション活動動画：ニチレク・スティック、集団用とびなわ、防災ウォーク 備、キャンプ初心者のために基礎講座、インディアカ、フライングディスク、ウォークラリー大会を成功させよう、音楽レクリエーション・うた体操、音楽レクリエーション・あそびうた、音楽レクリエーション・あそびうた指導実践編

## ② 情報誌 Recrew（レクルー）の発行

公認指導者をはじめレクリエーション活動に関わる人たちに向けて、役立つプログラムやノウハウ、用具等の情報を提供する情報誌 Recrew（レクルー）を6回発行した。

2022 年度は、レクリエーションの関連領域に関する内容や、新型コロナウイルス感染予防下における活動の在り方などを特集した。

号 別	特 集
2022 年 5 月号	高齢者レクのいま
2022 年 8 月号	地域行政とレクリエーション
2022 年 10 月号 [特別増刊号]	レクリエーションって将来に役に立つの？
2022 年 11 月号	「第 76 回全国レクリエーション大会 2022 ひょうご」 全レク！全力！
2023 年 2 月号	e スポーツ、やってみる？
2023 年 3 月号 [特別増刊号]	Social Issues レクリエーションに求められること

## (3) 地域組織支援

### ① 加盟団体運営代表者会議

都道府県レクリエーション協会、種目別加盟団体、加盟協力団体の運営代表者が集まり、レクリエーション運動の方向性や次年度に向けた課題について検討する会議を開催した。

本年度も感染症に配慮して1日のみの開催とした。全体会ではスポーツ庁から「令和5年度スポーツ実施率向上のための諸施策について」と「部活動の地域移行への対応と、各団体への期待」に関する説明等がされたほか、次年度の日本レクリエーション協会の基本方針及び重点施策を説明し、分科会にて内容を掘り下げた。

- ・期 日 2022 年 12 月 1 日（木）
- ・会 場 コングレスクエア日本橋

## ② ブロック会議

レク運動を推進するための都道府県レク協会の役割、都道府県レクリエーション協会組織体制整備支援等、都道府県レクリエーション協会との連携・協働を図るためのブロック会議を以下のとおり開催した。本年度も感染症の影響を受け、関東・甲信越ブロックおよび九州・沖縄ブロックはオンラインにより開催した。

ブロック名	日 程	開催地	幹事県
北海道・東北	6月18日(土)～19日(日)	札幌市	北海道
関東・甲信越	6月30日(木)	オンライン会議	東京都
東海・北陸	6月29日(水)	名古屋市	愛知県
近畿	7月7日(木)	大阪市	大阪府
中国・四国	6月24日(金)～25日(土)	高知市	高知県
九州・沖縄	6月18日(土)	オンライン会議	沖縄県

## ③地域事業普及促進強化事業

都道府県レク協会の組織基盤強化と、普及啓発事業拡大のために、支援事業を行った。

### (1)若手人材の育成支援

今後の組織運営を担い、ICTの活用を促進するため、若手人材を育成する15県（群馬県、千葉県、神奈川県、富山県、福井県、長野県、岐阜県、三重県、兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、長崎県、宮崎県）の取り組みに対して助成した。

・助成額：20万円（上限）／1協会あたり

### (2)事務局運営支援

個人宅に事務局を置いている協会、または事務局開設日数が少ない協会を対象に、外部からの電話連絡に対応するための事務局の電話代行の提案を行い、2県（滋賀県、徳島県）の事務局電話対応業務を実施した。

### (3)法人化支援

法人格を持たない道府県レク協会（25協会）のうち、法人格（特定非営利活動法人または一般社団法人）取得に向けた個別支援を行った。本年度は7府県が法人化に向けて取り組み、4府県（栃木県、千葉県、愛知県、京都府）が法人化した。

## (4) 公認指導者資格の更新

### ① レクリエーション・インストラクター・スキルアップ制度の整備

準上級の審査認定に伴い、審査方法や評価の視点についてまとめ、制度の全体像とあわせてホームページ、情報誌レクルーにて周知した。

また、準上級と中級に向けたテキスト、冊子を作成し、昇級を促進した。

### ② 中級レクリエーション・インストラクターの審査認定

2020年度以前に準中級レクリエーション・インストラクターとなった者の中から審査に合格した208名を中級レクリエーション・インストラクターに認定した。

③ 準上級レクリエーション・インストラクターの審査認定

2020年度以前に中級レクリエーション・インストラクターとなった者の中から審査に合格した11名を準上級レクリエーション・インストラクターに認定した。

④ 公認指導者資格の更新（2023年3月31日現在）

資格別	更新前人数	更新数	更新率
余暇開発士	189	166	87.83%
スポーツ・レクリエーション指導者	738	675	91.46%
レクリエーション・インストラクター	17,917名	-	73.51%
準中級レクリエーション・インストラクター		10,895	
中級レクリエーション・インストラクター		663	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,226	
上級レクリエーション・インストラクター		387	
福祉レクリエーション・ワーカー	1,634	1,357	83.05%
レクリエーション・コーディネーター	1,039	927	89.22%
のべ人数	21,517	16,300	75.75%

参考：公認指導者資格の更新（2022年3月31日現在）

資格名	更新対象者数	更新者数	更新率
余暇開発士	251名	225名	89.64%
スポーツ・レクリエーション指導者	740名	697名	94.19%
レクリエーション・インストラクター	18,734名	-	73.01%
準中級レクリエーション・インストラクター		11,432名	
中級レクリエーション・インストラクター		557名	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,288名	
上級レクリエーション・インストラクター		400名	
レクリエーション・コーディネーター	1,063名	970名	91.25%
福祉レクリエーション・ワーカー	1,633名	1,387名	84.94%
のべ人数	22,421名	16,956名	75.63%

⑤ 公認指導者数（2023年3月31日現在）

資格名	人数
スポーツ・レクリエーション指導者	2,177名
レクリエーション・インストラクター	8,952名
準中級レクリエーション・インストラクター	22,455名
中級レクリエーション・インストラクター	1,219名
準上級レクリエーション・インストラクター	2,512名
上級レクリエーション・インストラクター	787名
余暇開発士	388名
レクリエーション・コーディネーター	1,986名
福祉レクリエーション・ワーカー	2,899名
のべ人数	43,375名

参考：公認指導者数（2022年3月31日現在）

資格名	人数
スポーツ・レクリエーション指導者	1,970名
レクリエーション・インストラクター	9,784名
準中級レクリエーション・インストラクター	24,031名
中級レクリエーション・インストラクター	1,037名
準上級レクリエーション・インストラクター	2,659名
上級レクリエーション・インストラクター	828名
余暇開発士	414名
レクリエーション・コーディネーター	2,094名
福祉レクリエーション・ワーカー	3,135名
のべ人数	45,952名

### 3. レクリエーションの普及・啓発

#### (1) 全国イベント・啓発

##### ① 第76回全国レクリエーション大会2022ひょうご

「白鷺の地から広げよう！レクの楽しさ・交流・笑顔」をスローガンに、第76回全国レクリエーション大会を兵庫県で開催した。兵庫県での開催は2回目。

本大会では12のスポーツ・レクリエーション交流大会、31のセッションからなる研究フォーラム、3種目の協賛行事、姫路市内3会場でのレクリエーション体験ひろばを実施し、全国から延べ8,470人が参加した。

なお、大会3日間は台風14号接近により、一部のプログラム（スポーツ・レクリエーション交流大会4種目、協賛行事1種目、特別行事3プログラム）を中止とした。

○主催：（公財）日本レクリエーション協会、（特非）兵庫県レクリエーション協会、兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市、明石市、宝塚市、地域レクリエーション協会

○共催：スポーツ庁

○後援：総務省、環境省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、林野庁、人事院（一財）日本宝くじ協会、（公財）日本スポーツ協会、（公社）全国スポーツ推進委員連合、（社福）全国社会福祉協議会、（公財）健康・体力づくり事業財団、（公財）日本パラスポーツ協会 ほか

○開催市町：姫路市、神戸市、西宮市、明石市、宝塚市

○期日：2022年9月17日（土）～19日（月・祝）

○参加者：8,470名（3日間の延参加者）

○内容：「研究フォーラム」「スポーツ・レクリエーション交流大会」「開・閉会式」「特別行事」「協賛行事」

##### ② 全国一斉「あそびの日」キャンペーン2022

スポーツ庁の共催のもと、「あそび」を通して子どもたちを育み、家族のふれあい、地域の交流等を全国各地で促進するために、全国一斉「あそびの日」キャンペーン2022（19回目）を開催した。

「あつまり、ともに、つながる」をサブタイトルとし、全国3,672のプログラムに合計216,337名が参加した。また、コロナ禍でも自宅などから参加できる「おうちで60秒チャレンジ」をオンライン企画として実施し、165件の参加があった。

○サブタイトル あつまり、ともに、つながる

○開催期間 2022年9月17日（土）～11月13日（日）

○主催 公益財団法人日本レクリエーション協会

○共催 スポーツ庁、都道府県レクリエーション協会、一般財団法人日本ユースホステル協会、一般財団法人休暇村協会、一般財団法人公園財団、独立行政法人国立青少年教育振興機構

○全国後援 厚生労働省、総務省、全国市長会、全国町村会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益財団法人日本パラスポーツ協会

### ③ Web サイト等を活用した情報配信

2022年度は、2021年度に実施したwebサイト構成の統廃合をさらに進めるなど、各サイトのリニューアルを実施した。

さらに、都道府県レクリエーション協会において、webサイトの管理運用への支援を求める協会に対して、webサイト開設、運用支援を行った。

また、メールでの情報配信サービスを対象別に配信することや、SNS（フェイスブック、ツイッター）を活用した情報配信等にも注力した。

#### ○WEBサイト

- ・協会サイト recreation.or.jp 閲覧数：368,559PV 訪問者数：166,121人  
2021年度：754,933PV 訪問者数：229,074人
- ・レクリエーション情報サイト“レクぼ” recreation.jp  
閲覧数：3,202,758PV 訪問者数：518,699人  
2021年度：4,637,899PV 訪問者数：649,080人
- ・レクリエーション・カタログ shop.recreation.jp  
閲覧数：258,580PV 訪問者数：36,153人  
2021年度：271,056PV 訪問者数：34,491人
- ・健康スポーツ促進サイト”ケンスポコム” kenko.sportscom.jp
- ・レクリエーション資格紹介サイト shikaku.recreation.jp
- ・公認指導者サイト mem.recreation.or.jp
- ・講師派遣サイト kensyu.recreation.or.jp
- ・あそびの日サイト asobi.recreation.jp
- ・子供の体力向上ホームページ kodomo.recreation.or.jp
- ・課程認定校サイト recschoolstart.recreation.or.jp
- ・スポーツテンカサイト sportstenka.com

#### ○メールマガジン

- ・公認指導者向け レクマガ（月2回配信）
- ・レクリエーション・サポーター向け ピアサポ（月2回配信）
- ・用具・書籍購入者向け レクリエーション・カタログメルマガ（月1～2回配信）

#### ○SNS 配信

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム：月2～4回配信

#### ○都道府県レクリエーション協会 web サイト支援

2022年度は、福島県・福島市・長野県、3協会のwebサイトを移転、リニューアル、運用した。

## (2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及

### ① 「健康スポレクひろば」普及推進事業

普段運動をしていない高齢者（スポーツ未実施者）に参加を促し、スポーツ・レクリエーション活動を通じた健康づくりを行う「健康スポレクひろば」普及推進事業を53地区で実施した。全国で619回のプログラムが実施され、延べ約15,000人が参加した。

- ・実施地区（53地区）

茨城県茨城町、埼玉県上尾市、東京都中央区・東大和市、新潟県阿賀野市（2地区）・燕市（2地区）・佐渡市・上越市・新潟市（7地区）・村上市・柏崎市、富山県富山市、福井



県坂井市・鯖江市・福井市、愛知県長久手市、兵庫県神戸市・淡路市・明石市・加古川市、島根県松江市、山口県宇部市（5地区）・下関市・岩国市・山口市（2地区）・山陽小野田市・周南市・防府市、高知県南国市・奈半利町、熊本県熊本市（3地区）・山鹿市・八代市（3地区）、大分県大分市、福岡県北九州市（2地区）

## ② スポレクEXPO～健康スポーツ・フェスティバル～

子どもから高齢者、障がい者など幅広く市民を対象に、多様なスポーツ・レクリエーション種目の体験と交流の機会を提供する「スポレクEXPO」～健康スポーツ・フェスティバル～を実施した。初年度となった2022年度は、全国14会場で合計30回実施され、16,036人が参加した。

・実施会場（委任先レクリエーション協会）

山口県 2022年5月29日～7月24日 380名

福島県 2022年9月3日、4日、18日、10月8日 1,467名

岩手県 2022年9月17日、18日 2,505名

岡山県 2022年9月23日 896名

青森県 2022年10月9日 84名

長野県 2022年10月9日 109名

兵庫県 2022年10月9日 1,280名

高知県 2022年10月9日～11月19日 721名

熊本県 2022年10月10日 1,309名

新潟県 2022年10月15日、16日 1,839名

石川県 2022年11月3日 1,215名

栃木県 2022年11月26日 226名

京都府 2022年11月26日 3,500名

福岡県（北九州市） 2022年11月27日 505名

## ③ 健康スポーツ活動応援サイト「ケンスポコム」の運用

スポーツ・レクリエーション団体の個人情報管理および教室やイベント等の集客活動等の支援を行う情報サービスとして開発した「ケンスポコム」を運用した。また、2022年度は新たに日本オートキャンプ協会、日本インディアカ協会が会員管理団体として登録利用を開始した。

## ④ 全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会

年間を通して、いつでも、どこでも、誰でも参加することができる「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会」を開催し、合計692（前年度445件）の記録が認定された。

また、チャレンジ・ザ・ゲームの主な対象となる小学生への更なる普及に向けて、教員等学校関係者からの認知度獲得を目的に「チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員活動助成」と「小学校対抗チャレンジ・ザ・ゲーム大会」を開催した。「チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員活動助成」は、福井県と島根県の小学校2校で合計6回、延べ183名の児童が参加した。「小学校対抗チャレンジ・ザ・ゲーム大会」は、愛媛県の小学校2校をオンラインでつなぎ、各5チーム合計48名が参加して順位を競った。

## ⑤ 受託研修、講師派遣等によるレクリエーションの普及

### ○心の元気づくり 365 プロジェクト

レクリエーションを広く普及するために無償で講師を派遣するキャンペーン事業を実施し、全国4か所（宮城県、秋田県、栃木県、兵庫県）でレクリエーション教室及び研修プログラムを提供した。

- ・宮城県（県立聴覚支援学校）、秋田県（児童保育員）、栃木県（鹿沼市身体障がい者親交福祉会）、兵庫県（県立有馬高等学校）

### ○研修会等への講師派遣

首都圏をはじめ茨城県、青森県、兵庫県、鹿児島県等の行政機関、社会福祉協議会、高齢者施設等からのレクリエーション研修の依頼に対し、講師を派遣した。また、オンライン研修も1件行った。

領域	依頼先	件数
高齢者福祉（介護予防等）	行政機関、社会福祉協議会、高齢者大学、団体	12
子育て支援	団体	2
スポーツ・レクリエーション	行政、スポーツ推進委員	2
青少年育成	行政、団体	2
障がい者支援	団体	1
その他	社会福祉協議会、団体	3

## ⑥ ウェブ研修コンテンツの制作・配信

介護予防のための根拠に基づいたレクリエーション支援のオンライン研修を3回シリーズで実施した。初の主催オンライン研修だったが、のべ170名の参加があり、どの講座も受講者の満足度は高い評価を受けた。

- ・第1回 理学療法士に学ぶ 令和5年2月8日（水）18:30～20:00  
集団対象におけるエビデンスに基づいた運動プログラムの効果と実践
- ・第2回 作業療法士に学ぶ 令和5年2月21日（火）18:30～20:00  
主体的な参加を作業療法の視点から考える
- ・第3回 言語聴覚士に学ぶ 令和5年3月6日（月）18:30～20:00  
脳の仕組みから考える認知機能活性化、維持のためのトレーニング

## ⑦ おうちで60秒チャレンジ

コロナ禍において、自宅でできる運動あそびとして開発した「おうちで60秒チャレンジ」を継続展開し228件の記録申請があった。

また、「子ども霞が関見学デー」ではスポーツ庁ブースで実施、全国一斉「あそびの日」キャンペーン2022と連動したコンテストなどの展開が図られた。

## ⑧ 第77回全国レクリエーション大会（2023年）プレ事業

2023年度に開催を予定している第77回全国レクリエーション大会の機運を高めるため、徳島県内にてプレ事業を実施した。

開催種目は 20 種目、合計 1,730 名の参加を得て開催し、2023 年度開催のシミュレーションを行うとともに、徳島市を中心に広報活動を行うことができた。

#### ⑨ 令和 4 年度「スポーツの日」中央記念行事

スポーツ庁やスポーツ関連団体と共に例年開催している「体育の日」中央記念行事は、「令和 4 年度スポーツの日中央記念行事スポーツ祭り 2022」というタイトルにて開催した。WEB サイトにて映像コンテンツを公開したほか、アスリートによるトークショーをライブ配信した。

- ・主催：スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、読売新聞社
- ・WEB サイト公開期間：2022 年 10 月 3 日（月）～11 月 13 日（日）※トークショーは 10 月 10 日（月・祝）

#### ⑩ 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2023

スポーツ庁、関連団体と共に「生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2023 - 人・スポーツ・未来 -」を静岡県沼津市にて実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面とオンデマンドのハイブリッド開催となった。

全体テーマ『「Sport in Life」の実現を目指して、第 3 期スポーツ基本計画の推進』のもと、全体会と 4 つの分科会を実施。この中で、公益財団法人日本スポーツ施設協会と連携して第 2 分科会「第 3 期スポーツ基本計画と各主体の連携・協力の可能性～スポーツの価値を高めるさまざまな取り組み～」の企画・運営を行った。また、協賛団体の運営総括を担当した。

- ・主催：スポーツ庁、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会（公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本スポーツ施設協会、公益財団法人スポーツ安全協会、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、静岡県）
- ・期日・方法：来場 2023 年 2 月 10 日（金）  
オンデマンド 2023 年 2 月 20 日（月）～3 月 10 日（金）
- ・参加者：620 名

## 4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及

### ① レクリエーション・カタログ 2023 の作成

スポーツ・レクリエーション活動を効果的に実施するための用具・書籍を紹介するレクリエーション・カタログ 2023 を作成した。約 2 万部を発行し、全国の福祉施設、関連機関・団体へ配布した。

### ② ウェブサイト：レクリエーション・カタログの運用

新型コロナウイルスの影響で ICT 活用が進み、用具・書籍の購入についてもウェブの利用率が上がった。このため引き続き、サイトの運営・充実を行った。

○アクセス評価：閲覧数：258,580PV 訪問者数：36,153 人

2021 年度：271,056PV 訪問者数：34,491 人

## 5. その他 法人事務

### ① 生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション指導者を日本レクリエーション協会が推薦し、下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、文部科学大臣より表彰された。

- ・木村 博子 氏 一般社団法人青森県レクリエーション協会副会長等
- ・長沢 伸一 氏 特定非営利活動法人福島県スポーツウエルネス吹矢協会会長等
- ・明瀬 一裕 氏 一般社団法人日本オートキャンプ協会会長等
- ・土屋 勝 氏 公益財団法人日本レクリエーション協会公認指導者等
- ・松山 清子 氏 犬山市レクリエーション協会会長等
- ・石本 茂男 氏 京都府レクリエーション協会監事等
- ・足立 隆博 氏 公益財団法人日本レクリエーション協会公認指導者等
- ・永井 丹穂子 氏 認定 NPO 法人日本車椅子レクダンス協会副理事長等
- ・松木 紀子 氏 特定非営利活動法人愛媛県レクリエーション協会事務局長等
- ・長友 恵子 氏 九州ブロックインディアカ協会理事等

### ② 内閣府エイジレス・ライフ実践事例「エイジレス章」

内閣府が、65 歳以上で自由にいきいきとした生活を送ること（「エイジレス・ライフ」）を積極的に行っている高齢者や団体などを広く紹介する「エイジレス章」に、壱岐 道子さん（宮崎県レクリエーション協会）、「社会参加章」に、大宮レクリエーション指導者協議会が選考された。

### ③ レクリエーション運動普及振興功労者表彰（理事長表彰）

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた者を、加盟団体より推薦を受け、87 名、8 団体を表彰した。また、2022 年度より新たに課程認定校推薦枠を設け、

学校法人浪商学園 大阪体育大学（大阪府）／学校法人武庫川学院 武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部（兵庫県）を表彰した。

○受賞者	都道府県レクリエーション協会推薦	78名
	種目・協力加盟団体推薦による推薦	9名
	市町村レクリエーション協会	8団体
	課程認定校	2校

#### ④ 理事会

- 第1回 2022（令和4）年5月27日（金）14：00～15：40  
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室  
※インターネット会議で実施
  - ・2021（令和3）年度事業報告（案）について
  - ・2021（令和3）年度収支決算（案）について
  - ・会計規程の改定について
  - ・2022（令和4）年度定時評議員会の招集について
  - ・評議員の推薦について
- 第2回 2022（令和4）年11月8日  
書面理事会
  - ・種目団体の加盟について
- 第3回 2022（令和4）年12月15日  
書面理事会
  - ・基本財産の運用について
- 第4回 2023（令和5）年3月17日 13：30～14：35
  - ・2023（令和5）年度事業計画（案）について
  - ・2023（令和5）年度収支予算（案）について
  - ・2023（令和5）年度借入金限度額について

#### ⑤ 評議員会

- 定時評議員会 2022（令和4）年6月17日（金）14：00～15：10  
※インターネット会議で実施
  - ・2021年度収支決算報告（案）について
  - ・報告事項
- 書面評議員会 2022（令和4）年12月15日
  - ・基本財産の運用について

#### ⑥ 一般社団法人日本インドアカ協会事務局運営支援

2021年度2月に事務局を日本レクリエーション協会に移転後、一般社団法人日本インドアカ協会の事務局運営を支援した。

- ・協会運営の支援（2023年度スポーツ振興センター活動助成受託への支援）
- ・ホームページ等の管理・運用
- ・ケンスポコムサイトへの管理移転に関する技術支援等

[都道府県別公認指導者一覧] (令和5年3月31日現在)

所属協会	人数	インストラクター	準中級	中級	準上級	上級	スポレク指導者	余暇開発士	レクコーディネーター	福祉レクワーカー	延べ数	
1	北海道	1,604	510	932	57	58	33	236	4	76	38	1,944
2	青森県	618	159	394	16	32	8	20	0	13	41	683
3	岩手県	655	99	469	15	52	15	10	3	29	51	743
4	宮城県	1,084	276	647	45	52	24	51	4	79	108	1,286
5	秋田県	339	34	249	11	16	17	19	2	22	25	395
6	山形県	291	31	170	8	16	8	0	1	14	75	323
7	福島県	896	152	620	32	45	16	55	3	39	70	1,032
8	茨城県	715	155	430	16	58	18	16	6	28	99	826
9	栃木県	955	393	438	25	71	15	23	5	29	93	1,092
10	群馬県	1,011	472	460	15	48	4	15	4	15	53	1,086
11	埼玉県	973	146	671	52	73	14	44	13	48	61	1,122
12	千葉県	1,155	315	682	37	77	16	50	24	64	55	1,320
13	神奈川県	1,076	169	739	43	61	30	38	32	69	51	1,232
14	東京都	2,240	542	1,175	102	152	76	210	47	130	152	2,586
15	新潟県	1,387	400	652	23	168	29	71	39	130	217	1,729
16	富山県	444	117	280	7	22	13	21	5	22	25	512
17	石川県	226	13	164	14	26	4	26	2	20	23	292
18	福井県	470	144	238	6	56	16	23	2	35	122	642
19	山梨県	244	101	120	9	11	1	15	0	5	9	271
20	長野県	616	56	467	28	44	7	49	2	45	41	739
21	岐阜県	832	151	556	37	57	19	66	5	49	49	989
22	静岡県	1,040	157	661	36	100	19	60	10	53	146	1,242
23	愛知県	1,873	625	991	62	104	48	108	7	110	104	2,159
24	三重県	713	134	467	21	51	23	5	4	50	64	819
25	滋賀県	254	20	184	9	21	14	5	4	27	19	303
26	京都府	526	109	324	26	40	17	17	2	50	36	621
27	大阪府	1,679	444	991	66	107	27	68	19	125	97	1,944
28	兵庫県	1,595	435	949	52	89	23	121	35	60	116	1,880
29	奈良県	207	86	98	7	8	2	50	7	11	7	276
30	和歌山県	203	1	170	7	10	12	2	1	13	12	228
31	鳥取県	251	37	168	8	27	5	19	3	11	30	308
32	島根県	474	93	322	13	34	6	9	3	22	24	526
33	岡山県	760	128	470	16	113	19	7	8	50	110	921
34	広島県	1,151	184	732	47	92	30	29	17	68	148	1,347
35	山口県	753	172	481	17	66	9	48	6	32	62	893
36	徳島県	595	194	337	18	20	7	173	3	9	36	797
37	香川県	566	143	388	15	15	1	15	4	7	16	604
38	愛媛県	659	153	439	21	33	3	30	5	14	40	738
39	高知県	436	120	291	7	10	5	16	0	11	11	471
40	福岡県	1,659	522	957	43	81	32	31	22	88	60	1,836
41	佐賀県	323	63	202	8	44	5	28	3	6	48	407
42	長崎県	541	64	410	25	24	16	24	1	23	26	613
43	熊本県	427	57	320	14	28	6	47	2	16	27	517
44	大分県	560	140	342	21	35	12	31	4	28	45	658
45	宮崎県	412	45	304	19	24	19	56	4	26	22	519
46	鹿児島県	829	175	502	20	94	21	42	9	62	104	1,029
47	沖縄県	571	195	306	11	34	14	72	2	34	25	693
48	北九州市	151	21	96	12	13	9	6	0	19	6	182
合計		37,039	8,952	22,455	1,219	2,512	787	2,177	388	1,986	2,899	43,375